

研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム

産学共同(育成型) 事後評価結果

体系的課題番号	: JPMJTR20RK
採 択 年 度	: 2020 年度
分 野	: ICT・電子デバイス、ものづくり分野
研究開発課題名	: 赤外光硬化性樹脂を用いたシリコンフォトニクス自動接続の研究開発
プロジェクトリーダー 研究責任者	: 杉原 興浩(宇都宮大学)

評価結果の総合所見

本課題は、LSI 光配線や超高速光トランシーバなどにおける安価な細線光インターコネクタ技術の実現に向け、シリコン導波路と光ファイバの自動接続を実証するものである。

当初の目標を達成し、企業との共同研究に至っており、次の研究開発フェーズへの展開が期待できる。

データセンター内や情報通信機器において、パッシブアライメントによる光配線の自動接続技術は市場ニーズも高く、その基礎技術を固めたことは高く評価される。国際的な競争が激しい分野でもあり、今度の知財戦略や、製品展開等においては、多くの企業を巻き込む形で進めてほしい。

以上